

救急の現場から聞きました

救命のリレーは

あなたからスタートします



問 大館消防署 ☎43-4151

目の前で消えそうな命を助けるには、①119番通報、②
心急手当、③高度な救急措置、④救命医療の4要素をつなぐ
「救命のリレー」が必要です。どれが欠けても命を救うチャ
ンスは少なくなってしまう。しかも、最初の二つは、そ
の場に居合わせた「あなた」の手にかかっています。大切な
命を救うために、勇気を持って救命のリレーをスタートさせ
てください。

救急車が到着するまでの

「心急手当」で 助かる命があります

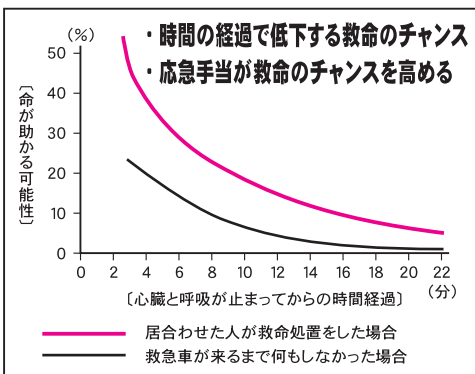
①119番通報



公衆電話や固定電話が無い
ときは携帯電話でもOKです。
その場合、所在地を確認して
から通報し、携帯電話である
ことを伝えてください。

(居合わせた人)

昨年1年間の救急車出動件数
は、2265件および月平均1
89件、1日当たり6件)です。
救急車の配備状況は、大館消
防署2台、比内分署1台で、3
月からは田代分署にも1台配備
される予定です。
救急車が現場に到着する時間
は、これまでの平均で8分から
9分でしたが、比内分署・田代
分署への救急車配備で、この地



域での現場到着時間は5分〜6
分短縮されると思われます。
それでも、心肺停止状態に
陥った傷病者の場合、救急車が
来るまで何の手当もしないで5

分〜6分経過すると助かる可能
性は10%近くまで低くなってし
まいます。ですから、119番
の通報と同時に、できるだけ早
く心急手当を始め、救急隊員に
引き継ぐまで続ける必要があります。

119番は早く確実に

あわてずに、まず①火事か、
救急か、②場所を分かりやすく
(電話番号、番地、目標の建物
など)、③傷病者の状況、④普
段の通院先など、をお知らせく
ださい。

頻繁に倒れたりするかたの場
合、様子を見ることも必要です
が、とにかく早い通報が大事で

す。通報の後に回復した場合は、
再度連絡して断っていただい
てもかまいません。

安全の確認と心急手当

- ①水に濡れたりしないか、交通
事故の危険が無いが、周囲の
安全を確認してください。
- ②意識があつて話すことができ
る場合は、傷病者に楽な姿勢
を取らせてください。
- ③ケガなどで出血している場合
は、止血などの心急処置が必
要です。

心肺蘇生法とAED

傷病者の反応が無く、心肺停
止が確認された場合は、一刻も